

コスモアイル羽咋・羽咋市立図書館の利活用に関する サウンディング型市場調査の結果について

羽咋市では、市の賑わいづくりのニーズを踏まえた、貸館、展示室、市立図書館を活用した地域交流拠点機能の創出・運営・地域開放に関して、コスモアイル羽咋を継続的かつ効果的に活用するため、直接民間事業者の皆様から、民間参入の可能性や事業アイデアを調査・把握することを目的として、対話によるサウンディング型市場調査を行いましたので、その結果を公表します。

参加事業者の皆さまから、さまざまなご意見・ご提案をいただきましたが、各事業者のアイデア・ノウハウなど知的財産保護の観点から詳細については公表を差し控えており、今回公表する内容については、参加事業者から了承を得たものとなっております。

1 調査の経過

- ①実施要領の公表 : 令和8年1月19日
- ②現地見学会 : 令和8年2月5日
- ③個別サウンディング : 令和8年2月24日～2月27日（対面形式）

2 参加事業者 3法人（法人名は非公表）

3 主な意見

①施設の整備・運営方法のアイデアや可能性

- ・既存の施設を改修する必要がある。改修か建て替えか検討が必要では
- ・大規模改修しても、延命措置にしかならないのでは。
- ・既存の施設を極力活用することにより、改修費用を抑制
- ・公園の利活用、宇宙科学博物館の体験型展示の提案があった。
- ・芝生広場の活用
- ・賑わいづくりには図書館をリノベーションして、見せ方などの工夫が必要。
- ・コンセプトとして、観光がメインなら市外の人、図書館がメインなら市内の人が中心となる。
- ・施設の事業展開としてターゲットを明確にした方が利用人数を増やしやす。

②想定される収支見込や施設の使用料金の想定

- ・運営については独立採算では成立せず、公的補助が必要
- ・今と同じ運営方法なら黒字になる。どこでアイデンティティを示せるか。
- ・運営については、自己資金での運営は難しく、市の指定管理料が必要である。
- ・観光客が見込めるのであれば現状の使用料で十分賄える。
- ・売店やネット販売等も活用していきたい。

③事業条件

- ・事業に関しては、自由裁量の度合いを高めてほしい。
- ・公的補助の継続をお願いする
- ・運営については、自己資金での運営は難しく、市の指定管理料が必要である。
- ・大ホールをホールではない用途で使うこともできるのでは
- ・事業に関しては、他の事業者と共同で行うことになるかもしれない。
- ・指定管理者の要件の「石川県内に事業所もしくは、経営主体であること」を除外してほしい

④関心度合

- ・興味のある企業を紹介する形になる
- ・強い関心を有している、指定管理者制度の有効的な活用による運営が最適である
- ・興味はある

⑤課題等懸念事項

- ・運動公園など周辺施設を含めた指定管理を考えてもいいのではないかと。
- ・類似施設としてラクナがあるのであればスケールダウンさせる可能性もある
- ・市の改修計画や基本構想計画の予定があれば示してほしい。
- ・今後の改修を見通した計画等を教えてほしい。
- ・類似施設としてラクナがあるので、差別化が必要。図書などの展示方法も変える必要がある。
- ・市の改修計画や基本構想計画の予定があれば示してほしい。
- ・人件費の上昇に対応した指定管理料が必要になります。
- ・今後、化石燃料の上昇などにどのように対応していくか。

⑥その他自由意見について

- ・運動公園など周辺施設を含めた指定管理を考えてもいいのではないかと。
- ・新設を考えているのであれば他の施設の統合、防災施設、PFIの活用も計画しては。
- ・展示施設の更新は考えているのか。
- ・能登の復興、賑わいをどのように受け入れていくのか運営上大事になる。
- ・30年を迎え、今後の修繕、事業展開を今回の指定管理に踏まえていく必要がある。
- ・その次の指定管理時には40年を迎え、手を加えなければならない。
- ・大規模改修などは年単位の長期の閉館期間が必要となる。

4. サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディングにより、賑わいづくりの拠点となる等の提案をいただいた。
30年目を迎えるにあたり、40年目までに検討すべきことの洗い出しができた。
大規模改修についての費用対効果・人口規模などの検討、計画づくりを進める。
対話結果を踏まえ、関係課と連携し事業者公募を実施する予定です。